

希望を拓く新しい年へ

日本共産党



2020年、新しい年の幕開けです。
安倍自公政権の政治とカネの問題が、国民の怒りと不信を広げ、野党が丸となって追いつめてきました。
日本共産党は、足立区議会第4回定例会で、医療・介護の値上げを抑え負担軽減を求めるとともに、消費税増税への対策を行うよう具体的な提案をしました。また、地球温暖化による台風の強大化、集中豪雨の増加などの甚大な被害を受け、温暖化対策・防災対策の問題点を指摘し、大きく前進しました。
野党連合政権構想に道を開くとともに、区民のくらしといのちを守り、希望を拓くために今年もがんばります。

いのち、暮らしを守る姿、鮮明に

消費税の増税により、暮らしと経済に影響が出ていると対策を迫り、区は「プレミアム商品券の前倒しを行い、今後も状況を見て検討していく」と答弁。また国保料改定について、「新年度から値上げをすべきでない。減免制度を直ちに」と求め、区は「保険料の急激な上昇を抑えるよう国や都に財政支援を求め、減免制度の要綱の改正と運用方法の改善を行う」と答弁しました。

「消費税や高すぎる国保料のことを正面から、迫ってくれたのは共産党だけだった。私たちの声を届けてくれてうれしい。」(傍聴者)



今年もみなさんと力をあわせがんばります!

氏名・役職	住所
都議会議員 斉藤 まりこ 《事務所》足立区千住龍田町8-13 ☎(3879)3629	
区議会議員 きたがわ秀和 《自宅》足立区弘道2-13-4 ☎(3840)7441	
区議会議員 横田 ゆう 《事務所》足立区西伊興4-8-21 ☎(3805)1507	
区議会議員 山中ちえ子 《事務所》足立区花畑4-25-4 吉野ビル1階 ☎(3805)1611	
区議会議員 西の原えみ子 《自宅》足立区千住緑町2-5-16 ☎(3879)3628	
政調委員長 副幹事長 浅子けい子 《事務所》足立区柳原2-4-1 ☎(3870)4547	
幹事長 はたの昭彦 《自宅》足立区大谷田5-27-15 ☎(5697)1960	
区議団長 ぬかが和子 《自宅》足立区伊興1-5-3 ☎(3854)7159	

ご意見・ご要望、くらしの相談は
区議団へ03(3880)5770

日本共産党
足立区議団ニュース

発行会派
日本共産党足立区議団
足立区中央本町1-17-1
足立区役所内
発行責任者 ぬかが和子
編集責任者 浅子けい子

みなさんのご意見をお寄せ下さい

区議団 Tel.03-3880-5770 Fax.03-3880-5682
足立区議団メールアドレス acmp@blue.ocn.ne.jp
足立区議団のホームページ http://www.adachi-jcp.jp/

台風19号の教訓 提案みのもる!

避難所になる学校体育館 夏までに全校エアコン実現

地球温暖化による気候変動で、記録的な猛暑や今までにない豪雨災害が繰り返される中、避難所にもなる学校体育館のエアコン設置を繰り返し求めてきました。今定例会の日本共産党の代表質問に対し、区が答弁。来年の夏までに全校にエアコンを設置することになりました。設置対象は、すでに設置してある学校や改築予定の学校を除く99校で、うち91校は、停電時でも稼働可能なガスエンジン式です。万が一、都市ガスが止まってもプロパンガスに切り替えて稼働できるもので23区初です。災害時も避難所の生活環境を維持できます。

【実現までの道のり】

- 2018年夏 熱中症対策で大型扇風機導入を表明した区に「一刻も早く学校体育館にエアコン設置を」と申し入れ。
- 2018年秋 日本共産党の代表質問に「検討する」と初めて答弁。
- 2018年冬 同代表質問で他区の事例を紹介し、「来年度中の全校配置を」と求める。区は3年間で設置と表明。
- 2019年6月 改選後、初の定例議会代表質問では「区の計画では数年かかる。可能な限り前倒しをして、エアコン設置を」と求める。
- 2019年10月 台風19号の教訓から「避難所となる学校の環境改善について。多数の避難者により体育館の温度が上がるなど室内環境の悪化で体調を崩す方が出た。この間、災害はいつ発生するかわからないと、避難所となる学校体育館のエアコン設置を繰り返し求めてきた。一刻も早く全ての学校体育館にエアコンの設置を」と緊急申し入れ。
- 2019年12月 共産党の代表質問で、申し入れ内容を提案。ついに「来年の夏までにはエアコンを全体育館に導入」と区が表明。



荒川氾濫の最大の弱点、京成線荒川架橋を調査する7人の党区議員

避難所・防災無線対策も前進

提 案	区の答弁
【避難所】	
広域避難は非現実的。見直しを	現実的な広域避難のあり方へ、見直す。
避難所は、避難に危険が及ぶ前に全校一斉に開設を	氾濫の恐れのある河川流域は全校一斉に開設。
開設当初から「福祉避難室」を明確に、医療的ケア児や障害・高齢者、乳幼児など別室避難を	配慮が必要な方への別の居室を設けるなど、避難所運営の統一的なルール・手順を5月までにまとめる。
第二次（福祉）避難所の早期開設、あり方の見直しを	同時開設できるよう、開設基準などを検討。介護・福祉施設との連携を強める。
すべての避難所に段ボールベッドなどの備蓄を	必要性を検討する。
【防災無線】	
防災無線テレフォン案内の回線増や個別受信機の貸出、防災ラジオの導入を	情報発信を見直し始めた。回線数を増やす。新たな情報発信も検討する。
【公共施設のあり方】	
備蓄倉庫のスペースを十分に確保。備蓄倉庫を2階に	備蓄倉庫のあり方を学校や避難所運営会議と相談する。
学校の雨漏り	年度内に補修完了。

都道について、各地域から要望の強い無電柱化や、狭小な道路の改善、自転車通行帯の実施などを要望しました。

第六建設事務所(11/28)



東武鉄道(11/29)

閉鎖された西新井駅ビルや西口問題、北千住の踏切対策を引き続き要望。各駅に早期のホームドアの設置やトイレの洋式化も求めました。

都交通局(11/28)

日暮里・舎人ライナーはこの間車両2編成増えますが、これだけでは不十分のため、抜本的対策を求めるとともに、無人駅・無人運転を改善し安全対策の強化を指摘、強く要望しました。

各関係機関に申し入れ



具体的場所を指摘し、渋滞・安全対策等交通改善、及び信号機設置等32項目に及ぶ要望書を提出しました。

東京メトロ(11/29)



綾瀬駅のホームドアやエレベーターの設置、北綾瀬駅の混雑対策、北千住駅西口階段整備等住民の声を代弁しました。

警視庁(11/29)

